

なんだ・かんだ

◆ 人は誰もが「多重人格」 ◆

私の好きな作家である田坂広志氏が書いた、「人は誰もが多重人格」という本を先日読みました。

人間は色々な性格の人がいます。几帳面な性格、おおざっぱな性格、明るい性格・・・。また、ひとりの人間の中にも、さまざまな性格が入り交じっています。

そして、今は違っても、将来その性格が変わったり、今までにはなかった新たな一面が出てくることもあります。

いつも傍にいる人でも、「あいつも課長らしくなって来たな。」「すっかりお兄さんになったな。」「あいつも親らしくなったな」等その成長した姿や変化にふと気が付いたり、学校を卒業して久しぶりに会った友だちが、もの凄く変わっている。そんなことも良く経験することです。

そうこう考えると、人間は1つの固定した性格・人格だけを持っているのではなく、様々な面を内在しているし、また変化もしています。

人間は、色々な立場や環境に立つと、自然と順応してその場に合った性格を備えていきます。父親になれば嫌でも父親として行動しなければなりません。課長になれば、新入社員のようなことは言っていられません。「立場が人を作る」ということです。

自分の性格が嫌いであれば変えたいという方も多いと思います。しかし、1度身についた人格や性格はなかなか変えることは難しいことです。なので、無理をして自分の性格を変えようとするのではなく、新たな人格・性格を自分の中に育てることが重要だそうです。

「私はそういう人間ではない」、「俺の性格ではこれは出来ない」とか「自己限定」してしまうと、自分の性格や人格の幅を狭めてしまい、結果として「能力」や「才能」の幅を狭めてしまいます。最初から決めつけずに、それまでやらなかったことや、初めて経験することに対してトライしていると、自然に出来なかったことができたり、能力が身に付くこともあります。

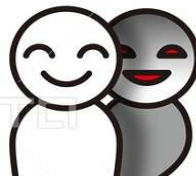
また、褒められることで興味を持って、今まで出来なかったことが出来ることもあります。上司が部下のそれまで見られなかった長所を見つけ、褒めてあげると、本人がそれに気づいて、増々その長所が伸びていることもあります。人間の性格・人格・能力はある部分後天的に形成されるということです。

新しい人格を得るためにはどうするか。それには、「様々な人生経験を積むこと」。しかし実際に体験するには限界があるので、古典文学を読んだり、優れた原作や脚本の映画を見ることで「疑似体験」をして自身に教養を付けることが重要だそうです。

自分の中に、多くの人格を持つ為に、すぐに「出来ない」と言わずに様々な事に挑戦し、日々教養を付ける様な生活を送りたいものです。

先日心に響いた、松下政経塾の元塾頭上甲晃氏の言葉で、組織の中で言う事を聞かない者を前にして、「他人を変えようとするあまり、どれほど人を責めてきたことだろうか。しかし、いくら責め続けたところで、人を変えることは出来ない。人生でただ一つ、自分を変えられるのは自分しかない。自分を変える勇気を持てるかどうかだ。」

と言う言葉にも共通するモノがあると思いました。



■ 雑草の発生を遮断 ウィードコート ■

コンクリートやアスファルトの隙間から雑草が生えてきてお困りではありませんか？

○抜いても抜いても生えてくる。 ○チョット放っておくと瞬間に成長して大きくなり、広がってしまう。 ○除草剤を撒いても数ヶ月でまた生えてきてしまう。

そんなお悩みをお持ちの方に、「流し塗工法」により、雑草が生えてくる隙間を密封し、雑草の発芽や発生を防ぐ「ウィードコート」をお薦めします。一度お試しください。

雑草が枯れるこれからの時期に施工するのがオススメです。

彼岸を過ぎて

先月は台風が連続3個上陸し、今月も非常に大型の台風が日本列島を縦断して各地に大雨を降らしその傷跡を残していきましました。天気予報を聞いていると、観測史上初」とか「〇十年振り」とか言う言葉が毎回のように出て来ます。被害に遭われた方には申し訳ないのですが、もはや驚くことも少なくなっています。

さて、彼岸を過ぎ、9月も終わりに近づいてきました。早いもので今期も半分が終わります。4月の時点では、為替も株価も年当初からの円高・株安の傾向が固定され、日銀の緩和政策を基礎とするアベノミクスの効力もそろそろ薄れてきたような状況の中、昨年、「昨年に比べて、今期は厳しくなるだろう」と予想していました。

半期を迎え、お客様の生産減や予算の執行の手控えなどによって、予想通り厳しい部門もありますが、反面、新規のお客様の売上が予想以上に増えたり、売上が落ちるだろうと予想していた部門が、意外と検討してくれたり、今のところ昨年とほぼ同様の売上を維持しています。後半年、何とかこの調子でいきたいと思っています。

代表取締役 服部 敬郎

社員ブログ

● 剣客商売 ●

営業部 影山裕久

暑さ寒さも彼岸までとよく言いますが、今年もお彼岸を過ぎて、これから暑さも和らいで、季節は秋へと移り変わっていきます。そして、秋は、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして読書の秋と言われています。

このところ私は、池波正太郎の本に凝っています。氏は戦後を代表する時代小説・歴史小説作家で、その著書は「鬼平犯科帳」「剣客商売」「雲霧に左衛門」などテレビでもお馴染みの時代劇で、最近ではBSで再放送されています。これを録画して見るのも大変楽しみとなっています。

「剣客商売」という作品は、江戸時代中期以降、老中田沼意次(ためまおきつぐ)の時代で、戦国時代や江戸時代初期の様に、剣術の腕だけでは食べていけない平和な時代の中、孫のような少女と夫婦になって隠棲する剣術の老名人が剣の腕を活かして、悠々と生きていく話で、楽しくもあり羨ましくもある物語です。

仕事を終え、一日の終わりに30分程本を読むのを楽しみにしています(たいていの場合30分で済みませんが)。

喧騒から離れ、静かなところで本を読むひとは、現実を離れて小説の世界に身を置き、想像の中を駆け巡る心安らぐ時間です。

池波正太郎の代表作であり大作の「鬼平犯科帳」全24巻は、仕事を引退してから読むのを楽しみに取っておこうと思っています。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/